

## タイトル：トルコギキョウの節水栽培技術

### [要約]

トルコギキョウの年末出荷作型における灌水施肥栽培において、片側3条2列植が適当である。また、生育の後半に灌水指標 pF 値を 2.1 程度に高めると、約 14%の節水が図られ、品質も同等の切り花が得られる。

香川県農業試験場・花き担当

[連絡先] 087-889-1121

[部会名] 傾斜地農業、野菜・花き・茶（花き）

[専門] 栽培

[対象] 花き類

[分類] 指導

### [背景・ねらい]

水が得られ難い島しょ部等において、花きを導入する際、水の確保が大きな制約要因となっており、節水栽培技術の導入が求められている。そこで、近年県内でも栽培が増加しているトルコギキョウを対象に灌水施肥栽培技術を検討する。

### [成果の内容・特徴]

1. 1ベッド当たり点滴灌水チューブを2本用い pF 値を指標として灌水を行う場合、通路側から2条目と3条目の間に灌水チューブを設置すると、4条目及び5条目は切り花品質及び採花率が低下するため、片側3条2列植が適当である(表1)。
2. 発蕾期を基準に灌水点指標値を pF 値 1.9 から 2.1 に変更しても、同等の切り花の品質が得られ、二度切り栽培における二番花の萌芽数は増加する(表2)。
3. その場合の灌水量は、全期 pF 値 1.9 で管理した対照区と比較すると約 14%の節水が図られる(表3)。

### [成果の活用面・留意点]

1. 島しょ部等へのトルコギキョウの導入が可能となる。
2. 灌水施肥（養液土耕）栽培のトルコギキョウへの導入促進が期待できる。
3. 条間、株間ともに 10cm とし、培地は花崗土にバーク堆肥 5kg/m<sup>2</sup>混合したものを使用する。
4. 肥培管理は全量液肥とし、ノンストレス型肥料（14 - 8 - 16）の 4000 倍を施用する。
5. テンションメーターの設置位置によっては条間による生育差が生じる場合がある。

表1 一番花の切り花品質(あずまの雪)

試験区分 条	慣行区			試験区				
	1	2	3	1	2	3	4	5
切り花長(cm)	53.4	54.1	47.7	51.4	51.3	51.5	44.7	54.5
切り花重(g)	41.4	42.2	45.8	36.9	37.0	38.3	22.4	29.5
有効花蕾数	5.8	4.7	6.0	5.2	5.2	5.0	3.8	4.0
平均開花日	1/2	12/16	12/24	1/8	12/18	12/27	1/3	1/22
採花率(%)	—	—	—	60.0	90.0	97.5	27.5	30.0

注：条数は通路側から1とし、試験区の5はベッドの中央とする。

表2 一番花の切り花品質(あずまの小春)

試験区分	切り花長	切り花重	有効花蕾数	平均開花日	二番花萌芽数
pF 値全期 1.9 区(対照区)	72.6cm	60.7g	4.9 個	1月3日	3.3 本
pF 値前半 1.9 後半 2.1 区	76.5	66.3	5.1	1月7日	4.6
pF 値前半 1.9 後半 1.7 区	73.0	58.1	5.2	1月10日	3.3

表3 灌水量の比較

試 験 区 分	1 m <sup>2</sup> 当り 総灌水量	1 株当り 総灌水量
pF 値全期 1.9 区(対照区)	351.6 ㊦	5.85 ㊦
pF 値前半 1.9 後半 2.1 区	296.0	4.93
pF 値前半 1.9 後半 1.7 区	427.7	7.13

注：総灌水量は調査を開始した平成 10 年 10 月 9 日から 11 年 1 月 1 日までの合計

[その他]

研究課題名：トルコギキョウの少灌水施肥栽培技術の確立

予算区分：国補（地域基幹）

研究期間：平成 10 年度（平成 9～13 年）

研究担当者：村口浩

発表論文等：なし